

取手グリーンスポーツセンター第1体育室床補強工事について

【経過報告】

平成 28年度	「第1・第2体育室床改修工事設計業務委託」を行う。 概要・・・既存の体育室と同等の強度とすることとし、利用者の身体への負担軽減や施工後の維持管理を考慮し、フローリング材による床材から、スポーツ長尺シートに変更した。
平成 29年度	「第1・第2体育室床改修工事」を行う。 概要・・・設計に基づき、改修工事を行う。 可動式観客席及び移動式バスケットボール用ゴールの設置カ所に補強を施した。
令和 元年度	「バスケットボール用ゴール入替」を行う。(令和元年9月納入) 概要・・・経年劣化に伴うゴールの傾きや衝突保護材の劣化により、利用者の安全面から新規ゴールに入替を行う。 比較・・・質量900kg→1,200kg、 令和2年2月に指定管理者より、ゴール保管場所前面の床にたわみが見られるとの報告があり、担当課が現地確認を行う。
令和 2年度	当施設の新型コロナウイルス感染症による閉館時期を過ぎ、使用再開後、しばらくして歪み部分の拡大が確認された。

【原因について】

床の改修については、当時は新規ゴールの詳細が未定であったため、既存の体育室の強度と同等とする内容で進められた。

これに対し、新規ゴールは、従前のゴールよりも質量で約300kg増えたことや、キャスターの配置から荷重が大変狭い範囲に集中してしまうこととなり、床にたわみが生じたものと考えられる。

【現在の対応】

ゴールの移動については、以前から利用者の安全確保のため指定管理者が行っており、歪み拡大の確認後はコンパネによる養生をしたうえで行っている。

影響範囲の拡大を防ぐために早期に対応する必要があり、補強工事を行うにあたり、12月補正において実施設計を行い、令和3年度6月補正により工事費の計上を予定している。

